

# 目 次

<b>第1章 小動物の診療</b> ……………(編集:岩崎利郎,辻本 元) 1	……………(大野耕一) 40
1. 病歴の聴取……………(辻本 元) 1	(5) 栄養要求量……………(大野耕一) 40
(1) 個体識別……………1	(6) 重症疾患に対する食餌療法の選択……………(大野耕一) 40
(2) 環 境……………2	
(3) 食物・水……………2	
(4) 予防歴……………2	
(5) 家族歴……………3	
(6) 既往歴……………3	
(7) 現病歴……………3	
2. 身体検査……………(辻本 元) 5	
(1) 全体的な観察……………5	
(2) バイタルサイン, 体重……………5	
(3) 各部位の身体検査……………6	
3. 診療記録……………(岩崎利郎) 10	
(1) 役 割……………10	
(2) 記載法……………10	
(3) 電磁的記録による保存について……………10	
(4) 診療記録の保存……………11	
4. 説明と同意……………(岩崎利郎) 11	
(1) 獣医師と飼育者の立場……………11	
(2) EBM……………11	
(3) 診療ガイドライン……………12	
5. 臨床検査……………(鷲巣月美) 12	
(1) 血液, 尿, 糞便, 体腔液……………12	
(2) 生 検……………14	
(3) 微生物学的検査……………15	
6. 画像検査……………15	
(1) X線検査……………(前田貞俊) 15	
(2) 超音波検査……………(滝口満喜) 19	
(3) CT・MRI検査……………(山田一孝) 23	
7. 内視鏡検査……………(巨 敏広) 27	
(1) 適応と内視鏡の種類……………27	
(2) 内視鏡による観察と生検……………28	
(3) 内視鏡を用いた治療……………29	
8. 臨床麻酔法……………(西村亮平) 30	
(1) 麻酔前評価……………30	
(2) 鎮静・麻酔法の選択……………31	
9. 輸液療法と栄養管理……………33	
(1) 輸液療法の適応と臨床的評価……………(岡野昇三) 33	
(2) 輸液剤の選択と輸液法……………(岡野昇三) 34	
(3) 輸液量とモニター……………(岡野昇三) 38	
(4) 疾患時の栄養学的評価と栄養療法の適応……………	
<b>第2章 循環器疾患</b> ……………(編集:小山秀一) 43	
1. 心臓の解剖と機能……………(桑原正貴) 43	
(1) 心 膜……………43	
(2) 心臓の機械的特性……………43	
(3) 心臓の興奮伝導系……………43	
(4) 心臓の神経支配……………43	
(5) 心臓周期における諸現象……………44	
(6) 冠循環……………44	
2. 心不全の基礎……………(小山秀一) 44	
(1) 心不全の原因……………44	
(2) 心不全の分類……………45	
(3) 心不全の病態生理……………46	
(4) 代償機構……………46	
(5) 心不全の臨床症状……………47	
(6) 心不全の診断……………48	
3. 心不全における治療と管理……………(藤井洋子) 48	
(1) 急性心不全の治療……………48	
(2) 慢性心不全治療:心不全分類に基づく治療……………49	
(3) 原疾患の病態に基づく治療戦略……………50	
4. 心機能の評価……………50	
(1) 身体検査……………(福島隆治) 50	
(2) 心臓の聴診……………(福島隆治) 53	
(3) 胸部X線検査……………(茅沼秀樹) 58	
(4) 心電図……………(小山秀一) 61	
(5) 心エコー図検査……………(堀 泰智) 63	
5. 先天性心疾患……………(上地正実) 71	
(1) 動脈管開存症……………71	
(2) 肺動脈狭窄症……………72	
(3) 大動脈狭窄症……………73	
(4) 心室中隔欠損症……………74	
(5) 心房中隔欠損症……………75	
(6) 僧帽弁異形成……………76	
(7) 三尖弁異形成……………77	
(8) ファロー四徴症……………77	
(9) アイゼンメンジャー症候群……………78	
(10) 血管輪の異常……………78	
6. 弁膜疾患……………(小山秀一) 78	
(1) 僧帽弁閉鎖不全症……………78	

(2) 三尖弁閉鎖不全症	84	(3) 呼吸困難の診断	120
(3) 肺動脈弁閉鎖不全症と大動脈弁閉鎖不全症	86	(4) 呼吸困難の治療	121
7. 心筋疾患 (竹村直行)	86	4. 鼻腔の疾患 (山谷吉樹)	123
(1) 拡張型心筋症	86	(1) 猫のウイルス性上部気道感染症	123
(2) 肥大型心筋症	88	(2) 慢性副鼻腔炎および前頭洞蓄膿症	123
(3) 拘束型心筋症	90	(3) 真菌性鼻炎	124
(4) 不整脈原性右室心筋症	90	(4) 細菌性鼻炎	125
(5) 分類不能型心筋症	90	(5) アレルギー性鼻炎	126
(6) 心筋炎	90	(6) 外鼻孔狭窄	126
8. 心膜の異常, 横隔膜ヘルニア (鷺巣 誠)	91	(7) 腫瘍	126
(1) 心膜の異常	91	(8) 異物による鼻炎	127
(2) 横隔膜ヘルニア	93	(9) 歯牙疾患による鼻炎	127
9. 犬糸状虫症 (萩尾光美)	93	5. 咽頭と喉頭の疾患 (藤田道郎)	128
10. 心調律障害 (藤井洋子)	98	(1) 猫の形質細胞性歯肉炎・口内炎・咽頭炎	128
(1) 身体検査による不整脈の確認	99	(2) 扁桃炎	128
(2) 心電図による不整脈の確認	99	(3) 咽頭粘液嚢胞	128
(3) 洞調律	99	(4) 猫の鼻咽頭ポリープ	129
(4) 異所性刺激生成異常	100	(5) 咽頭の異物と外傷	129
(5) 刺激伝導異常	104	(6) 口蓋裂(先天性)	130
(6) 刺激生成異常および伝導異常の合併による不整脈	105	(7) 咽頭の腫瘍	130
(7) 不整脈に対する治療	106	(8) 逆くしゃみ	130
11. 血管疾患 (福島隆治)	106	(9) 短頭種気道症候群	131
(1) 血栓症・塞栓症	106	(10) 喉頭麻痺	131
(2) 動脈瘤	107	(11) 喉頭炎	132
(3) 動脈硬化症	107	(12) 喉頭の腫瘍	133
(4) 静脈炎・静脈周囲炎	108	6. 気管と気管支の疾患 (藤田道郎)	133
12. 高血圧 (竹村直行)	108	(1) 犬伝染性気管気管支炎	133
(1) 高血圧	108	(2) 犬の慢性気管支炎	134
(2) 肥満症	109	(3) 気管虚脱	135
<b>第3章 呼吸器疾患</b> (編集: 藤田道郎)	111	(4) 猫の喘息	137
1. 呼吸器の解剖と機能	111	(5) 気管支拡張症	138
(1) 呼吸器の解剖 (大石元治)	111	7. 肺の疾患 (山谷吉樹)	139
(2) 呼吸器の機能 (局 博一)	113	(1) 肺腫瘍	139
2. 呼吸器疾患の臨床徴候と診断法 (藤田道郎)	117	(2) 肺炎	141
(1) 鼻漏(鼻汁排出)	117	(3) 肺水腫	143
(2) 咳	117	(4) 肺気腫	144
(3) 呼吸様式	118	(5) 肺血栓塞栓症	145
(4) 聴診	119	8. 胸腔および縦隔の疾患 (根津欣典)	145
(5) 打診	119	(1) 胸膜滲出	145
(6) 血液ガス検査	119	(2) 気胸	149
3. 呼吸困難に対する救急管理 (岡野昇三)	120	(3) 縦隔の疾患	150
(1) 呼吸困難の病態生理	120	(4) 横隔膜の疾患	152
(2) 呼吸困難の原因および臨床徴候	120	<b>第4章 消化器疾患</b> (編集: 大野耕一)	155
		1. 消化管の解剖と機能 (浅利昌男)	155

(1) 口腔の解剖	155	(11) 軟口蓋過長症	193
(2) 食道の解剖	156	(12) 口腔内腫瘍	193
(3) 胃の解剖	156	6. 咽頭, 食道の疾患	194
(4) 小腸の解剖	157	(1) 咽頭部の機能不全	(大野耕一) 194
(5) 大腸の解剖	158	(2) 巨大食道症	(大野耕一) 194
(6) 腸管への血液供給と神経支配	159	(3) 食道炎	(大野耕一) 196
(7) 消化管の機能: 栄養の消化と吸収	159	(4) 瘢痕形成による食道狭窄	(大野耕一) 197
2. 消化器疾患の臨床徴候	(桃井康行) 159	(5) 血管輪異常	(大野耕一) 198
(1) 口臭と流涎	160	(6) 食道内異物	(亘 敏広) 198
(2) 嚥下障害	160	(7) 食道の腫瘍	(亘 敏広) 200
(3) 吐 出	160	(8) 裂孔ヘルニア	(亘 敏広) 200
(4) 嘔吐と吐血	161	7. 胃の疾患	201
(5) 下 痢	162	(1) 急性胃炎	(石岡克己) 201
(6) 血便とメレナ	163	(2) 胃のびらん・潰瘍	(大野耕一) 202
(7) しぶり・排便困難	163	(3) 慢性胃炎	(大野耕一) 202
(8) 便失禁	163	(4) 胃排出障害	(大野耕一) 204
(9) 便秘	164	(5) 胃運動機能障害 / 胃アトニー	(大野耕一) 205
(10) 鼓腸, 腹鳴, 放屁	164	(6) 胃拡張捻転症候群	(岡野昇三) 206
(11) 腹痛と急性腹症	164	(7) 胃内異物	(大野耕一) 207
(12) 多 食	165	(8) 胃の腫瘍	(瀬戸口明日香) 208
(13) 食糞, 異物の摂取	165	8. 腸の疾患	210
3. 消化器疾患の診断法	165	(1) 急性腸炎	(石岡克己) 210
(1) 問診と身体検査	(大野耕一) 165	(2) 感染性腸炎	(1. 深田恒夫, 2. 中馬 猛, 3. 福本真一郎) 211
(2) 糞便検査	(1. 大野耕一, 2. 福本真一郎, 3. 片岡 康, 4. 大野耕一) 167	(3) 消化・吸収不良性疾	(1. 桃井康行, 2. 大野耕一, 3. 桃井康行) 222
(3) 臨床病理学的検査	(大野耕一) 171	(4) 炎症性の小腸, 大腸疾患	(大野耕一) 223
(4) X線検査	(夏堀雅宏) 172	(5) 蛋白漏出性腸症	(大野耕一) 226
(5) 超音波検査	(滝口満喜) 177	(6) 閉塞性腸疾患	(滝口満喜) 228
(6) 内視鏡検査	(福岡 淳) 178	(7) 腸の腫瘍性疾患	(滝口満喜) 231
(7) 消化管に対する生検法とその評価	(大野耕一) 179	(8) 便秘と巨大結腸症	(滝口満喜) 232
4. 消化器疾患に対する一般的治疗法	181	(9) 直腸・肛門疾患	(1. ~ 3. 大野耕一, 4. 5. 青木 忍, 6. 嶋田照雅) 233
(1) 消化器疾患の輸液	(桃井康行) 181	9. 消化器関連性の腹膜疾患	(大野耕一) 236
(2) 栄養療法	(大野耕一) 181	(1) 腸穿孔と細菌性腹膜炎	236
(3) 薬物療法	(大野耕一) 184	(2) 癌性腹膜炎	238
5. 口腔内疾患	(渡邊一弘) 187	<b>第5章 肝臓・胆道・膵外分泌疾患</b>	(編集: 鷺巢月美) 239
(1) 歯周疾患 (辺縁性歯周疾患)	187	1. 肝臓・膵臓の解剖と機能	239
(2) 根尖周囲病巣 (根尖病巣, 根尖性歯周炎)	187	(1) 肝臓の解剖と機能	(志水泰武) 239
(3) 口腔鼻腔瘻	189	(2) 膵臓の解剖と機能	(西飯直仁) 240
(4) 乳歯晩期残存 (乳歯遺残)	190	2. 肝胆道系疾患の症状	(鷺巢月美) 241
(5) 破歯細胞性吸収病巣 (歯質吸収病巣)	190	(1) 黄 疸	241
(6) 猫の歯肉口内炎	191	(2) 肝臓の大きさの異常	242
(7) 歯原性嚢胞	191		
(8) エナメル質低形成 (エナメル質形成不全)	192		
(9) 咬 耗	192		
(10) 唾液粘液嚢胞 (唾液腺嚢胞, 唾液粘液瘤)	192		

(3) 腹 水 .....	242	(8) 膀 胱 .....	290
(4) 多飲多尿 .....	242	(9) 尿 道 .....	291
(5) 肝性脳症 .....	242	(10) 下部尿路の神経支配 .....	291
(6) 血液凝固障害 .....	242	2. 泌尿器疾患の臨床徴候 .....	(佐藤れえ子) 291
3. 肝胆道系疾患の検査法 .....	242	(1) 問診と排尿動作の異常 .....	291
(1) 臨床病理学的検査 .....	(鷺巣月美) 242	(2) 泌尿器疾患の臨床症状 .....	292
(2) 肝臓の画像検査 .....	(小山秀一) 246	(3) 腎臓の大きさの異常 .....	292
(3) 肝生検 .....	(鳥巣至道) 250	3. 泌尿器疾患の検査法 .....	(佐藤れえ子) 292
4. 膵臓の検査法 .....	(坂井 学) 253	(1) 腎機能検査 .....	292
(1) 臨床病理学的検査 .....	253	(2) 尿検査 .....	295
(2) 膵臓の画像検査 .....	253	(3) 画像検査 .....	298
5. 犬の肝胆道系疾患 .....	255	(4) 腎生検 .....	298
(1) 慢性肝炎 .....	(坂井 学) 255	4. 腎不全 .....	298
(2) 肝線維症・肝硬変 .....	(鷺巣月美) 258	(1) 急性腎不全 .....	(上地正実) 298
(3) 犬の先天性門脈体循環シャント .....	(鷺巣 誠) 259	(2) 慢性腎臓病 .....	(佐藤れえ子) 303
(4) 先天性代謝異常 .....	(大和 修) 262	5. 先天性腎疾患と尿路異常 .....	(佐藤れえ子) 307
(5) 急性肝炎と急性中毒性肝症 .....	(大野耕一) 263	(1) 腎臓の奇形と腎異形成 .....	308
(6) 肝臓の腫瘍 .....	(森 崇) 265	(2) 家族性腎疾患 .....	309
(7) 肝膿瘍および結節性過形成 .....	(滝口満喜) 266	(3) 尿路の先天性異常 .....	310
(8) 二次性肝障害 .....	(大野耕一) 268	6. 糸球体疾患 .....	(佐藤れえ子) 311
(9) 胆嚢および胆管の疾患 .....	(鳥巣至道) 268	7. 尿路感染症 .....	(星 史雄) 313
6. 猫の肝胆道系疾患 .....	271	(1) 上部尿路感染症 .....	313
(1) 肝リピドーシス .....	(鷺巣月美) 271	(2) 下部尿路感染症 .....	314
(2) 猫の胆管炎 .....	(鳥巣至道) 274	8. 猫下部尿路疾患と猫特発性膀胱炎 .....	(佐藤れえ子) 317
(3) 肝臓の腫瘍 .....	(森 崇) 276	9. 尿石症 .....	(佐藤れえ子) 318
(4) 猫の門脈体循環シャント .....	(鷺巣 誠) 276	(1) 尿石形成要因 .....	318
(5) 急性中毒性肝症 .....	(大野耕一) 277	(2) 尿石の種類と発生率の変遷 .....	319
(6) 二次性肝障害 .....	(大野耕一) 278	10. 泌尿器の腫瘍 .....	(David J. Water) 324
(7) 猫の肝胆道系疾患 .....	(鳥巣至道) 278	(1) 腎臓の腫瘍 .....	324
7. 肝不全 .....	(鷺巣 誠) 279	(2) 尿管の腫瘍 .....	325
8. 膵外分泌疾患 .....	283	(3) 膀胱の腫瘍 .....	325
(1) 急性膵炎 .....	(坂井 学) 283	(4) 前立腺の腫瘍 .....	326
(2) 慢性膵炎 .....	(坂井 学) 285	(5) 尿道の腫瘍 .....	327
(3) 膵外分泌不全 .....	(坂井 学) 286	11. 腎周囲偽嚢胞 .....	(星 史雄) 327
(4) 膵外分泌腺の腫瘍 .....	(森 崇) 286	12. 排尿障害 .....	(上地正実) 328
<b>第6章 泌尿器疾患</b> .....	(編集:佐藤れえ子) 289	(1) 排尿の生理 .....	329
1. 泌尿器の解剖と機能 .....	(矢吹 映) 289	(2) 神経性排尿障害 .....	329
(1) 腎臓の位置 .....	289	(3) 非神経性排尿障害 .....	330
(2) 腎臓の外観および内景 .....	289	(4) 過剰拡張による排尿筋アトニー .....	331
(3) 腎臓の血管系 .....	289	(5) 排尿障害の予後 .....	332
(4) ネフロン構造と走行 .....	290	<b>第7章 内分泌・代謝疾患</b> .....	(編集:松木直章) 289
(5) 尿の生成機構 .....	290	1. 水・電解質の代謝異常 .....	(松木直章) 333
(6) 腎臓のその他の機能 .....	290	(1) 水・電解質の代謝異常 .....	333
(7) 尿 管 .....	290	(2) カルシウム, リン, マグネシウム .....	336

2. 視床下部・下垂体の疾患 …………… (松木直章) 338	(3) 代謝性および中毒性疾患 …………… (深田恒夫) 393
(1) 尿崩症 …………… 338	(4) 腫瘍性疾患 …………… (北川勝人) 394
(2) 猫の先端巨大症 …………… 340	(5) 炎症性疾患 …………… (松木直章) 397
(3) 下垂体性矮小症 …………… 340	(6) 感染性疾患 …………… (長谷川大輔) 399
(4) 下垂体機能低下症 …………… 341	(7) てんかんおよび発作性障害 …… (長谷川大輔) 403
3. 甲状腺の疾患 …………… (西飯直仁) 341	(8) 外傷性・血管障害性疾患 …… (長谷川大輔) 406
(1) 甲状腺機能低下症 …………… 341	4. 脊髄疾患 …………… 409
(2) 甲状腺機能亢進症 …………… 343	(1) 変性性疾患 …………… (神志那弘明) 409
4. 上皮小体の疾患 …………… (松木直章) 345	(2) 先天性疾患 …………… (原 康) 409
(1) 上皮小体機能亢進症 …………… 345	(3) 腫瘍性疾患 …………… (原 康) 410
(2) 上皮小体機能低下症 …………… 346	(4) 炎症性疾患 …………… (神志那弘明) 410
5. 副腎の疾患 …………… 347	(5) 損傷性疾患 …………… (原 康) 411
(1) 副腎皮質機能亢進症 …………… (森 昭博) 347	(6) 血管性疾患 …………… (神志那弘明) 413
(2) 副腎皮質機能低下症 …………… (森 昭博) 352	5. 末梢神経系の疾患 …………… 413
(3) 猫の原発性アルドステロン症 …… (松木直章) 353	(1) 脳神経の疾患 ……………
(4) 褐色細胞腫 …………… (松木直章) 353	(1.～5. 織間博光, 6. 7. 川崎安亮) 413
(5) 脱毛症 X …………… (松木直章) 354	(2) 脊髄神経の疾患 ……………
6. 膵内分泌疾患 …………… (松木直章) 354	(1.～3. 松木直章, 4. 5. 原 康) 417
(1) 糖尿病と糖尿病性ケトアシドーシス …… 354	(3) 自律神経系の疾患 …………… (深田恒夫) 419
(2) インスリノーマ …………… 360	
(3) グルカゴノーマ …………… 361	<b>第9章 筋疾患</b> …………… (編集：滝口満喜) 289
7. 性腺の疾患 (第13章 生殖器疾患を参照)	1. 筋肉の解剖と機能 …………… (宇塚雄次) 421
8. ビタミンの代謝異常 …………… (松木直章) 361	2. 筋疾患の臨床徴候と診断法 …………… (宇塚雄次) 422
9. 微量元素の代謝異常 …………… (松木直章) 363	(1) 一般的な臨床徴候 …………… 422
10. その他の代謝異常 …………… 363	(2) 筋疾患の診断手法 …………… 422
(1) ファンゴーニ症候群 (第6章 泌尿器疾患を参照)	3. 炎症性筋疾患 …………… (滝口満喜) 424
(2) シスチン尿症 (第6章 泌尿器疾患を参照)	(1) 免疫介在性多発性筋炎 …………… 424
(3) ポルフィリン症 (第11章 血液疾患を参照)	(2) 咀嚼筋炎 …………… 424
11. 肥満と高脂血症 …………… 363	(3) 外眼筋炎 …………… 425
(1) 肥 満 …………… (西飯直仁) 363	(4) 皮膚筋炎 …………… 425
(2) 高脂血症 …………… (佐藤耕太) 365	(5) 感染性筋炎 …………… 425
<b>第8章 神経疾患</b> … (編集：織間博光・長谷川大輔) 369	4. 代謝性筋疾患 …………… (滝口満喜) 426
1. 神経系の構造と機能 …………… (浅利昌男) 369	(1) ミトコンドリア筋症 …………… 426
(1) 中枢神経系の構造と機能 …………… 369	(2) 糖原病 …………… 426
(2) 末梢神経系の構造と機能 …………… 372	(3) 悪性高熱 …………… 426
2. 神経疾患の検査と診断 …………… 375	(4) 糖質コルチコイド過剰症 …………… 426
(1) 神経学的検査 …………… (齋藤弥代子) 375	(5) 甲状腺機能低下症 …………… 426
(2) 脳病変の局所診断 …………… (徳力幹彦) 380	(6) 低カリウム性筋疾患 …………… 427
(3) 脊髄および末梢神経病変の局在診断	5. 遺伝性筋疾患 …………… (稲葉 睦) 427
…………… (宇塚雄次) 382	(1) 筋ジストロフィー …………… 427
(4) 特殊検査 …………… (宇塚雄次) 384	(2) ラミニン欠損症 …………… 428
3. 脳の疾患 …………… 390	(3) 先天性筋緊張症 …………… 428
(1) 変性性疾患 …………… (大和 修) 390	6. 神経筋接合部疾患 …………… (宇塚雄次) 429
(2) 先天性疾患 …………… (大和 修) 391	(1) 重症筋無力症 …………… 429

<b>第10章 関節疾患</b> ……………(編集:滝口満喜) 433	(12) 遺伝子検査……………(打出 毅) 464
1. 骨関節の解剖と機能……………(望月 学) 433	3. 貧血と赤血球増加症……………(大和 修) 465
(1) 関節の分類……………433	(1) 貧 血……………465
(2) 可動関節の基本構造……………433	(2) 失血性貧血……………466
(3) 関節軟骨の構造と生理……………433	(3) 溶血性貧血……………466
(4) 関節軟骨の修復……………434	(4) 非再生性貧血……………470
(5) 滑膜と滑液……………434	(5) 赤血球増加症……………472
(6) 半月板……………435	4. 白血球増加症と白血球減少症……………(奥田 優) 473
2. 関節疾患の臨床徴候と診断法……………(泉澤康晴) 435	(1) 急性相蛋白……………473
(1) 臨床徴候……………435	(2) 好中球増加症と好中球減少症……………473
(2) 診断法……………435	(3) 好酸球増加症と好酸球減少症……………477
3. 非感染性関節炎……………(奥村正裕) 436	(4) 好塩基球増加症……………478
4. 感染性関節炎……………(奥村正裕) 440	(5) 単球増加症……………478
(1) 細菌性関節炎……………440	(6) リンパ球増加症とリンパ球減少症……………478
(2) マイコプラズマ性関節炎……………442	5. 止血異常と血栓症……………480
(3) ウイルス関連関節炎……………443	(1) 止血機構と臨床検査……………(亘 敏広) 480
(4) その他……………443	(2) 血小板の異常による疾患……………(亘 敏広) 483
5. 非炎症性関節疾患……………(藤木 誠) 443	(3) 血液凝固線溶因子異常による疾患 (亘 敏広) 485
(1) 変形性関節症……………443	(4) 播種性血管内凝固……………(亘 敏広) 487
(2) 発育期の関節疾患……………444	(5) 血栓塞栓症……………(高橋 雅) 488
(3) 外傷性関節疾患……………446	6. リンパ・造血器腫瘍……………490
<b>第11章 血液疾患</b> ……………(編集:辻本 元) 449	(1) リンパ造血器腫瘍の分類……………(辻本 元) 490
1. 造血機構と血球……………(久末正晴) 449	(2) リンパ腫……………(辻本 元) 492
(1) 造血系の解剖……………449	(3) 白血病……………(久末正晴) 499
(2) 造血のメカニズム……………449	(4) 骨髄異形成症候群……………(久末正晴) 502
(3) 赤血球……………449	(5) 慢性骨髄増殖性疾患……………(久末正晴) 503
(4) 白血球……………449	(6) 形質細胞腫瘍……………(久末正晴) 505
(5) 血小板……………451	(7) 犬の組織球系腫瘍……………(小林哲也) 507
(6) 造血支持細胞……………452	(8) 猫の組織球系腫瘍……………(小林哲也) 509
2. 血液疾患の検査……………452	7. 免疫介在性血液疾患……………(藤野泰人) 510
(1) 全血球数算定……………(井手香織) 452	(1) 免疫介在性血液疾患の発生機序と種類……………510
(2) 網状赤血球検査……………(井手香織) 452	(2) 免疫介在性溶血性貧血……………510
(3) 末梢血液塗抹における血球形態検査…(井手香織) ……………453	(3) 免疫介在性血小板減少症……………514
(4) 骨髄生検……………(井手香織) 458	(4) 赤芽球癆……………516
(5) 腫瘍およびリンパ節の生検……………(井手香織) 459	(5) 免疫介在性血液疾患の治療……………517
(6) 血液凝固線溶系検査……………(井手香織) 460	8. 免疫不全症……………(水野拓也) 518
(7) 直接クームス試験……………(打出 毅) 460	(1) 先天性免疫不全……………519
(8) 抗核抗体試験……………(打出 毅) 462	(2) 後天性免疫不全症……………520
(9) 直接免疫抗体法……………(打出 毅) 462	<b>第12章 皮膚疾患</b> ……………(編集:岩崎利郎) 523
(10) 血液型検査・血液交差適合性試験……………(打出 毅) ……………462	1. 皮膚の解剖と機能……………(岩崎利郎) 523
(11) フローサイトメトリー検査……………(打出 毅) 463	(1) 皮膚の解剖学……………523
	(2) 皮膚の機能……………525
	2. 皮膚疾患の診断と治療……………(岩崎利郎) 526
	(1) 皮膚の診断学……………526

(2) 皮膚疾患の治療	530	11. 腫瘍性皮膚疾患	(内田和幸) 560
3. 皮膚の病理組織学	(関口麻衣子) 531	(1) 分類	560
(1) 皮膚生検と病理組織標本の作製	531	(2) 主な上皮性腫瘍	560
(2) 表皮の変化	532	(3) 非上皮性腫瘍	565
(3) 真皮の変化	533	12. 外耳炎・中耳炎および内耳炎	(西藤公司) 570
(4) 皮下組織の変化	533	(1) 外耳炎の病態生理	570
4. 外部寄生虫性皮膚疾患	(阿野仁志) 533	(2) 寄生虫性外耳炎	571
(1) ツメダニ感染症	533	(3) アレルギー性外耳炎	572
(2) ミミヒゼンダニ (ミミダニ) 感染症	534	(4) 角化異常症による外耳炎	572
(3) 疥癬	534	(5) 耳介を侵す疾患	572
(4) 毛包虫症	534	<b>第13章 生殖器疾患</b>	(編集: 河上栄一) 575
5. 細菌性および真菌性皮膚疾患	536	1. 生殖器の構造と機能	(筒井敏彦) 575
(1) 細菌性皮膚疾患	(深田恒夫) 536	(1) 生殖腺の発生	575
(2) 皮膚真菌症	(加納 暉) 537	(2) 雌性生殖器	575
6. アレルギー性皮膚疾患	(前田貞俊) 541	(3) 雄性生殖器	576
(1) 犬のアトピー性皮膚炎	541	2. 生殖器の先天異常	(筒井敏彦) 577
(2) 猫のアトピー性皮膚炎	544	(1) 間性	577
(3) 食物アレルギー	544	(2) 単角子宮	578
(4) ノミアアレルギー性皮膚炎	545	(3) 肉柱および腔弁遺残	578
(5) アレルギー性接触皮膚炎	546	(4) 陰門狭窄	578
7. 免疫介在性皮膚疾患	(西藤公司) 546	3. 発情周期とその異常	(筒井敏彦) 578
(1) 天疱瘡	546	(1) 性成熟	578
(2) 自己免疫性表皮下水疱症	547	(2) 犬の発情周期	578
(3) エリテマトーデス	548	(3) 猫の発情周期	579
(4) 皮膚血管炎	549	(4) 発情の異常	580
(5) 多形紅斑	549	4. 卵巣の疾患	(筒井敏彦) 580
(6) 中毒性表皮壊死症	550	(1) 卵胞嚢腫	580
(7) 無菌性結節性脂肪織炎	550	(2) 卵巣遺残症候群	580
(8) 円形脱毛症	551	(3) 卵巣腫瘍	580
8. 角化異常性疾患	(松鶴 彩) 551	(4) 猫の自然排卵	581
(1) 原発性角化異常症	551	5. 子宮および腔の疾患	(筒井敏彦) 581
(2) 二次性角化異常症	554	(1) 犬の子宮蓄膿症	581
9. 先天性および遺伝性皮膚疾患	(西藤公司) 554	(2) 猫の子宮蓄膿症	582
(1) エーラス・ダンロス症候群	554	(3) 子宮水症	582
(2) 先天性表皮下水疱症	554	(4) 子宮の腫瘍	583
(3) 魚鱗癬	555	(5) 腔過形成	583
10. 脱毛症	(小林哲郎・岩崎利郎) 555	(6) 腔炎	584
(1) 淡色被毛脱毛症	556	(7) 腔の腫瘍	584
(2) 黒色被毛毛包形成異常症	557	6. 乳房疾患	(津曲茂久) 584
(3) 副腎皮質機能亢進症 (クッシング症候群)	557	(1) うつ乳	584
(4) 甲状腺機能低下症	558	(2) 無乳症	584
(5) 性ホルモン関連皮膚症 (性ホルモン失調)	558	(3) 乳房炎	584
(6) 脱毛症 X	559	(4) 乳腺腫瘍	585
(7) 季節性側腹部脱毛症 (再発性側腹部脱毛症)	560	(5) 乳腺過形成	585
(8) パターン脱毛症	560		

7. 偽妊娠と妊娠, 分娩, 分娩後の疾患… (津曲茂久) 586	(5) ワクチン接種と宿主側の要因 …………… 607
(1) 偽妊娠 (仮性妊娠) …………… 586	(6) ワクチネーションプログラム …………… 607
(2) 習慣性流産 …………… 586	(7) ワクチン接種と免疫持続期間 …………… 607
(3) 流死産 …………… 586	(8) ワクチン接種による副反応 …………… 609
(4) 難産 …………… 587	4. ウイルス感染症 …………… 610
(5) 胎盤停滞および胎子遺残 …………… 588	(1) 犬のウイルス感染症 …………… (前田 健) 610
(6) 胎盤付着部退縮不全 …………… 588	(2) 猫のウイルス感染症 …………… (1.~3. 前田 健,
(7) 低カルシウム血症 (産褥テタニー) …………… 588	4. 5. 遠藤泰之, 6. 藤野泰人) 618
8. 陰囊, 陰茎, 包皮, 精巣の疾患 …………… (稲葉俊夫) 588	5. 細菌感染症 …………… 628
(1) 陰囊炎 …………… 588	(1) レプトスピラ症 …………… (遠藤泰之) 628
(2) 陰茎損傷 …………… 589	(2) プルセラ症 …………… (遠藤泰之) 629
(3) 包茎および嵌頓包茎 …………… 589	(3) ヘモプラズマ症 …………… (久末正晴) 630
(4) 亀頭包皮炎症 …………… 590	(4) ハルトネラ症 …………… (丸山総一) 631
(5) 潜在精巣 …………… 590	(5) ライム病 …………… (佐藤雪太) 631
(6) 精巣炎 …………… 591	(6) エールリヒア症 …………… (猪熊 壽) 632
(7) 精巣の腫瘍 …………… 592	(7) アナプラズマ症 …………… (猪熊 壽) 633
(8) 造精機能障害 (生殖不能症) …………… 593	(8) リケッチア症 …………… (猪熊 壽) 634
9. 犬の前立腺疾患 …………… (河上栄一) 593	(9) クラミジア症 …………… (猪熊 壽) 635
(1) 前立腺肥大症 …………… 593	(10) 敗血症 …………… (遠藤泰之) 635
(2) 前立腺嚢胞 …………… 595	6. 真菌感染症 …………… (加納 壘) 636
(3) 前立腺炎 …………… 595	(1) クリプトコックス症 …………… 636
(4) 前立腺膿瘍 …………… 596	(2) ヒストプラズマ症 …………… 636
(5) 前立腺腫瘍 …………… 596	(3) コクシジオイデス症 …………… 637
10. 犬ブルセラ症 …………… (河上栄一) 596	(4) プラストミセス症 …………… 637
11. 可移植性性器腫瘍 …………… (河上栄一) 597	7. 原虫感染症 …………… 638
<b>第14章 感染症</b> …………… (編集: 遠藤泰之) 599	(1) 犬のパベシア症 …………… (樋口誠一) 638
1. 感染症の検査と診断 …………… (遠藤泰之) 599	(2) ヘパトゾーン症 …………… (遠藤泰之) 640
(1) 感染症を疑う症例のアプローチ …………… 599	(3) トキソプラズマ症 …………… (遠藤泰之) 641
(2) 検査方法 …………… 599	(4) ネオスポラ症 …………… (遠藤泰之) 641
(3) 臨床材料の取扱い …………… 601	(5) クリプトスポリジウム症 …………… (遠藤泰之) 642
2. 抗菌薬の種類と治療 …………… (笹井和美) 601	(6) リーシュマニア症 …………… (松本芳嗣) 642
(1) 抗菌薬の選択 …………… 601	<b>付表1 薬物と用量</b> …………… (桃井康行) 645
(2) 抗菌薬の投与 …………… 602	<b>付表2 臨床検査項目の基準範囲</b> …………… (鬼頭克也) 665
3. 感染症の予防 …………… (宝達 勉) 605	<b>略語一覧</b> …………… 675
(1) ワクチンの定義 …………… 605	<b>参考図書</b> …………… 683
(2) ワクチンの種類 …………… 606	<b>日本語索引</b> …………… 685
(3) ワクチン接種の目的 …………… 606	<b>外国語索引</b> …………… 699
(4) コアワクチンとノンコアワクチン …………… 606	